

# 大津町地域公共交通計画策定調査事業について

令和7年度第2回大津町地域公共交通会議

—目次—

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| 1. 事業スケジュール .....     | P1 |
| 2. 各種調査の取組方針(案) ..... | P2 |

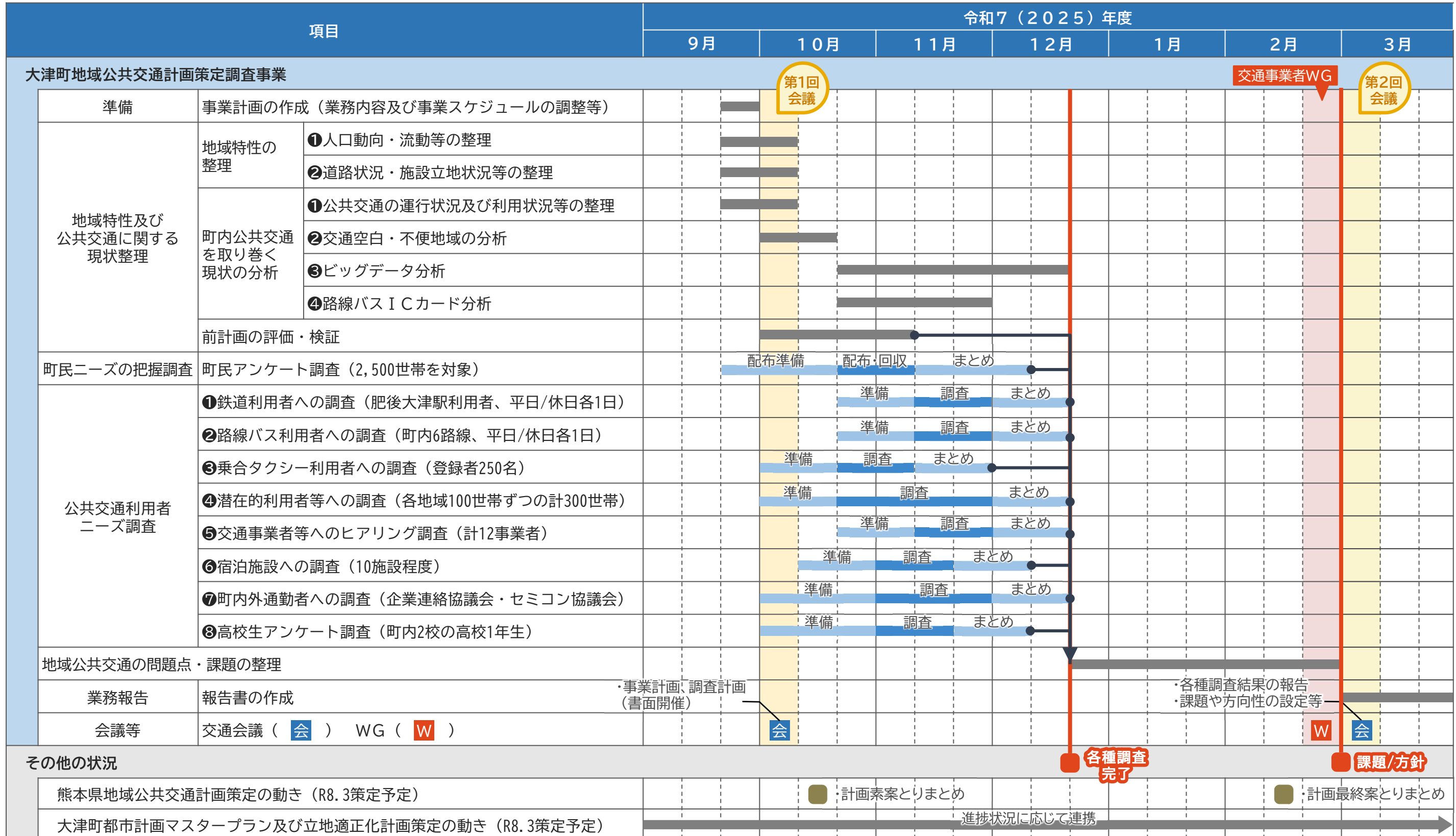
大津町地域公共交通会議 事務局

令和7年10月

## 1 事業スケジュール

●本事業の各種調査・検討については、以下の工程計画に従って進行するものとし、各打合せ協議や地域公共交通会議などの要所において進捗状況を管理しながら事業を遂行する。

- 11月上旬 地域特性・公共交通の現状分析・前計画の評価検証の完了
- 12月中旬 各種調査の実施及び分析完了
- 2月下旬 各種調査結果等を踏まえた課題・取組方針（案）の提示



※WG・・・実施事業の実現性や他事業との連携可能性の向上に向け、課題検討・施策検討段階で交通事業者等とのワーキングを実施する。

1 町民アンケート調査

◆町民の生活行動を分析し、移動ニーズと公共交通提供サービスのギャップを把握

町民の生活行動に基づく公共交通サービスの最適化と公共交通の利便性向上・需要の掘り起こしに向けて、**だれ（地区・年齢・目的）**が、**どこ（居住地）**から、**どこ（目的地）**に、**いつ（時間帯）**移動しているか等の移動実態を正確に把握する。

表 調査の実施方針

項目	実施方法・内容等
現状・課題	○提供サービスと生活行動・ニーズのズレ等を正確に検証するため、 <b>サービス水準や生活エリアが異なる町内の地区単位に分けた特性の分析</b> が必要
調査方法	○ <b>郵送及びWEB方式</b> によるアンケートの配布/回収 ※地域生活圏の小学校区ごとに配布数を設定、若い世代の回収率を上げるためにWEBで回答ができる環境を準備、町の公式LINE等を活用して周知
調査対象者	○ <b>転入者を含めた町内在住の2,500世帯（無作為抽出による15歳以上がいる世帯）</b>
調査期間	○令和7年10月下旬～11月上旬（回答期間は2週間程度）

表 調査票の設問（案）

分類	設計意図	設問（案）	
基本属性の把握	地区毎・年齢毎などの視点から特性を分析	○年齢・性別・職業	○自動車利用状況・送迎状況
		○居住地区	○運転免許保有、返納意思（65歳以上）
		○世帯構成・人数	○最寄りバス停・転入の有無
住民の外出状況の把握	町民の外出行動の特性を把握し、公共交通の需要を検証 ex) 居住地-目的地の関係から現行路線の改善を検証	○普段の外出時（移動時）に困っていることの有無	
		(外出目的別) ・通勤通学 ・買い物 ・通院	○本日利用する（した）他の交通手段
			○主な外出頻度 ○主に利用する交通手段 ○主な外出時間帯
公共交通の利用実態の把握	各地区の公共交通の利用有無、利用されない理由などの改善可能性	○町内公共交通の利用状況、利用頻度、利用しない理由（鉄道、路線バス、一般タクシー、乗合タクシー）	
		○路線バスと乗合タクシーの認知度	
		○公共交通に不便を感じる理由・原因（最大3つまで）	
公共交通の満足度	これまでの再編等に関する取組の効果	○本町における公共交通サービスの満足度	
公共交通のあり方・町民意向	今後必要な取組・改善意向	○本町の公共交通においてどのような取組・改善が必要か	
	町民の意向を確認	○公共交通を利用して行きたい外出先	
今後の取組への意向	公共交通維持に係る町財政負担のあり方についての町民の考え	○公共交通の維持のために町財政負担を継続すべきか	○財政負担による維持を続ける場合のあり方
	町民が必要と考える取組（協働含む）	○公共交通の維持・利用向上のために必要と思う取組	
その他	その他内容の把握	○自由解答欄▶公共交通に改善を期待する事、特定路線への要望など	

2 鉄道利用者への調査

※交通事業者様への協力依頼を行い実施を予定

●JR肥後大津駅利用者を対象として、鉄道や路線バス等の利用状況、公共交通利用者の視点から**駅待合環境や情報案内、交通モード別の接続状況等に関するニーズ・改善可能性**を把握する。

表 調査の実施方針

項目	調査内容等
調査内容	○利用者の特性－基本属性（性別・年齢等）/居住地/利用目的・目的施設/利用した交通手段/乗車・降車場所など ○公共交通の乗り継ぎに関する状況－公共交通の利用実態/公共交通の満足度/公共交通に期待することなど
調査方法	○調査員によるインタビュー形式のヒアリング調査（WEB併用）
調査対象	○ <b>JR肥後大津駅の利用者</b>
調査期間	○ <b>令和7年11月14日（金）、11月15日（土）</b> 予備日：令和7年11月28日（金）、令和7年11月29日（土）



**調査のねらい** 交通結節点及び主要拠点となる肥後大津駅までの移動状況・乗継状況等を把握し、肥後大津駅を中心としたネットワークのあり方及び二次交通の必要性等を検討

3 路線バス利用者への調査

※交通事業者様への協力依頼を行い実施を予定

●町内幹線軸を形成する路線バスの利用者を対象に利用者ニーズの把握を行い、**バス路線毎の運行評価やサービス改善検討を行うためのデータ**を収集する。

表 調査の実施方針

項目	調査内容等
調査内容	○利用実態（乗降パターン）、利用者の特性（年齢、性別、居住地、バス停までの移動手段、利用頻度、目的地、改善の期待など）
調査方法	○調査員の乗り込みによるカウント・インタビュー形式のヒアリング調査（WEB併用）
調査対象	○ <b>町内バス6路線・全便</b> ※大津まちなかバスは別途業務にて実施している調査結果を活用（カウントは全区間・ヒアリングは町内を乗降した方を対象）
調査期間	○ <b>令和7年11月14日（金）、11月15日（土）</b> 予備日：令和7年11月28日（金）、令和7年11月29日（土）

**調査のねらい** 現状のバス利用実態及びサービス満足度等を踏まえて、バス利用者の視点に基づく改善方策及び優先度の高い路線を検討、町内路線を網羅的に分析

表 調査対象路線の概要

路線名	系統名	平日	土曜	路線名	系統名	平日	土曜
三里木線	大津産交～桜町	4便	4便	木山線	木山産交～大津産交（森経由）	5便	5便
	桜町～吹田団地	9便	8便		木山産交～大津産交（岩坂経由）	5便	5便
大津高校線	吹田団地～大津高校	1便	0便	士林線	士林～大津産交（森経由）	1便	1便
菊池線	大津高校～菊池産交	14便	14便		士林～大津産交（岩坂経由）	3便	2便
山鹿線	山鹿BC～大津駅	17便	17便				

4 乗合タクシー利用登録者へのアンケート調査

●乗合タクシーの利用者ニーズを把握し、利用者が求める運行サービスの改善内容を踏まえて、**交通モード毎の連携及び運行事業者の実情を考慮した改善可能性**を検討する。

表 調査の実施方針

項目	実施方法・内容等
調査内容	○利用者の特性(利用頻度、目的地、乗り継ぎ状況、改善の期待など)
調査方法	○利用登録者への郵送によるアンケート調査
調査対象	○ <b>乗合タクシー登録者250人程度</b> (回収率40%想定)
調査期間	○令和7年10月下旬～11月上旬 (回答は2週間)

**調査のねらい** 他の交通モードへの乗り継ぎ実態やサービス満足度等を把握し、高齢者における利便性の向上に向けた改善方策及び乗合率の向上に向けた利用促進策を提案

5 潜在的利用者(利用希望者)への調査

●通いの場を通じて、自らの移動手段を持たない高齢者への生活行動調査より、**潜在的な需要を検証**します。あわせて**乗合タクシーの情報提供を実施**し、今後の利用可能性も検証する。

表 調査の実施方針

項目	実施方法・内容等
調査内容	○過去3日間の外出行動、公共交通ニーズ、乗合タクシーの利用可能性等
調査方法	○各行政区の通いの場を通じたアンケート調査票の配布・回収による調査 (その場で回収)
調査対象	○ <b>通いの場に参加された高齢者 (北部・南部・中部各100世帯を想定)</b>
調査期間	○令和7年10月下旬～11月下旬 (介護保険課と事前調整のうえ実施)

**調査のねらい** 免許返納等により今後潜在的な公共交通利用需要を有する高齢者の詳細な生活行動を把握し、高齢者にとって使いやすい移動環境の充実策及び利用促進を検討

 通いの場とは？

○高齢者が生きがいをもって、健康で安心して暮らすことができるように、住民によって企画・運営し、交流を通じて介護予防の推進と地域づくりの推進を目的に実施している取組

- 〈事業内容〉  
体操 (いきいき百歳体操など)、レクリエーション、趣味活動、茶話会、体力測定 など
- 〈参加料金〉  
無料 ※施設利用料等が必要な場合がある
- 〈実施主体〉  
大津町役場 介護保険課

6 交通事業者等へのヒアリング調査

※関係者様への協力依頼を行い実施を予定

●交通事業者及び町関連部署へのヒアリング調査を行い、**事業者がもつ問題意識、本町が目指すまちづくりとの連携可能性等を把握**します。本事業における**実施主体としての協力・連携可能性を検証**し、具体事業への反映を行う。

表 調査の実施方針

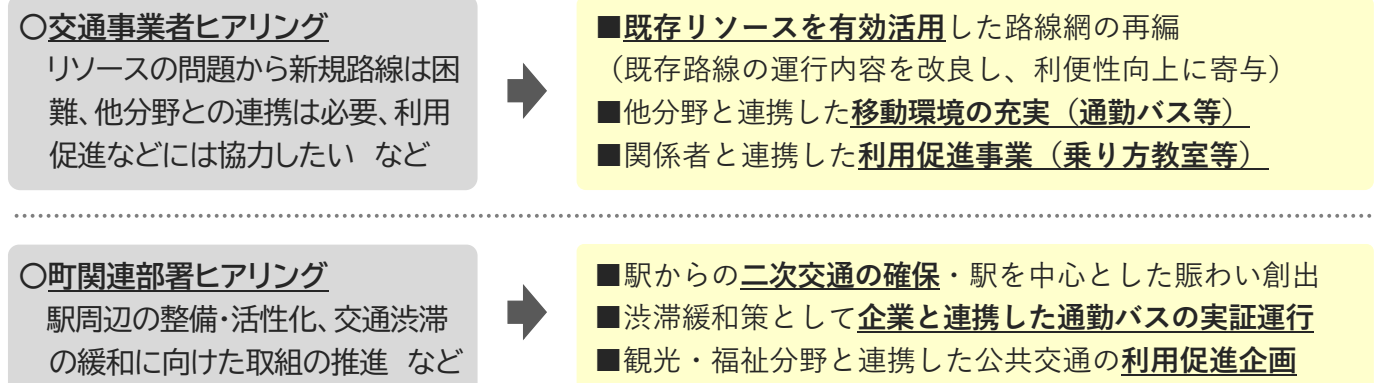
項目	調査内容等
調査方法	○直接面談方式の聞き取り調査 (交通事業者・町関連部署)
調査期間	○令和7年11月中旬～11月下旬 (各関係者と日程調整のうえ実施)

計12の事業者

分類	対象	ヒアリング内容	
交通事業者	鉄道	九州旅客鉄道(株)	・利用状況、利用者からの要望、駅周辺の課題等 ・空港アクセス鉄道の整備等を含めた今後の方針等 ・運行実績の収集(利用実績・記録など) ・営業所の保有車両や規格、運転士数、配車 ・利用者の特徴、町民からの要望 ・事業者がもつ運行上の課題、改善意見 ・今後期待する取組の意向 等
	路線バス	産交バス(株)/九州産交(株)	
	タクシー	(株)大阿蘇大津タクシー	
		(株)熊本キャブ	
関連部署	大津町	都市計画課	・各分野の取組状況、移動支援等の有無 ・公共交通の運行に関する問題意識 ・まちづくりを踏まえた公共交通に求める内容 ・通勤・通学の移動環境に関する問題意識 ・公共交通との連携意識、事業への協力意向 等
		福祉課・介護保険課	
		商業観光課	
		企業振興課	
		学校教育課	

**調査のねらい** 共創の取組に向けて、交通事業者の抱える課題・取組方針に関する意見把握、町内関連部署との連携可能性を把握し、まちづくり方針に沿った実現可能な取組を提案

〈課題抽出・取組方針展開へのイメージ〉



7 宿泊施設への調査

※関係者様への協力依頼を行い実施を予定

●TSMCの進出等に伴い、ビジネスや観光客等の交流人口が増加しており、肥後大津駅から宿泊施設へのアクセス環境不足等を踏まえて、**宿泊者の移動環境や宿泊施設側のニーズ**を調査する。

表 調査の実施方針

項目	実施方法・内容等
調査内容	○宿泊者の移動実態、施設内の駐車場整備状況、送迎サービスの有無 など
調査方法	○宿泊施設への電話/メール/WEBによるアンケート調査
調査対象	○直近で立地されたビジネスホテル等を含めて下記の12社を想定 ①東熊本ビジネスセンター                      ⑦KMHOTELS North ②HOTEL AZ 熊本大津店                              ⑧民宿杉の子 ③カンデオホテルズ大津熊本空港                      ⑨ホテルビスタ熊本空港 ④ホテルルートイン阿蘇くまもと空港駅前              ⑩スーパーホテル Premier阿蘇熊本空港 ⑤ベッセルホテル熊本空港                              ⑪東横INN熊本空港 ⑥ビジネス旅館 松風                                      ⑫エアポートホテル熊本
調査期間	○令和7年11月上旬～11月中旬

**調査のねらい** ビジネスや観光需要のニーズを把握し、肥後大津駅からホテルまでの二次交通手段の確保策（シェアモビリティ・ホテル共同送迎サービス等）を検討

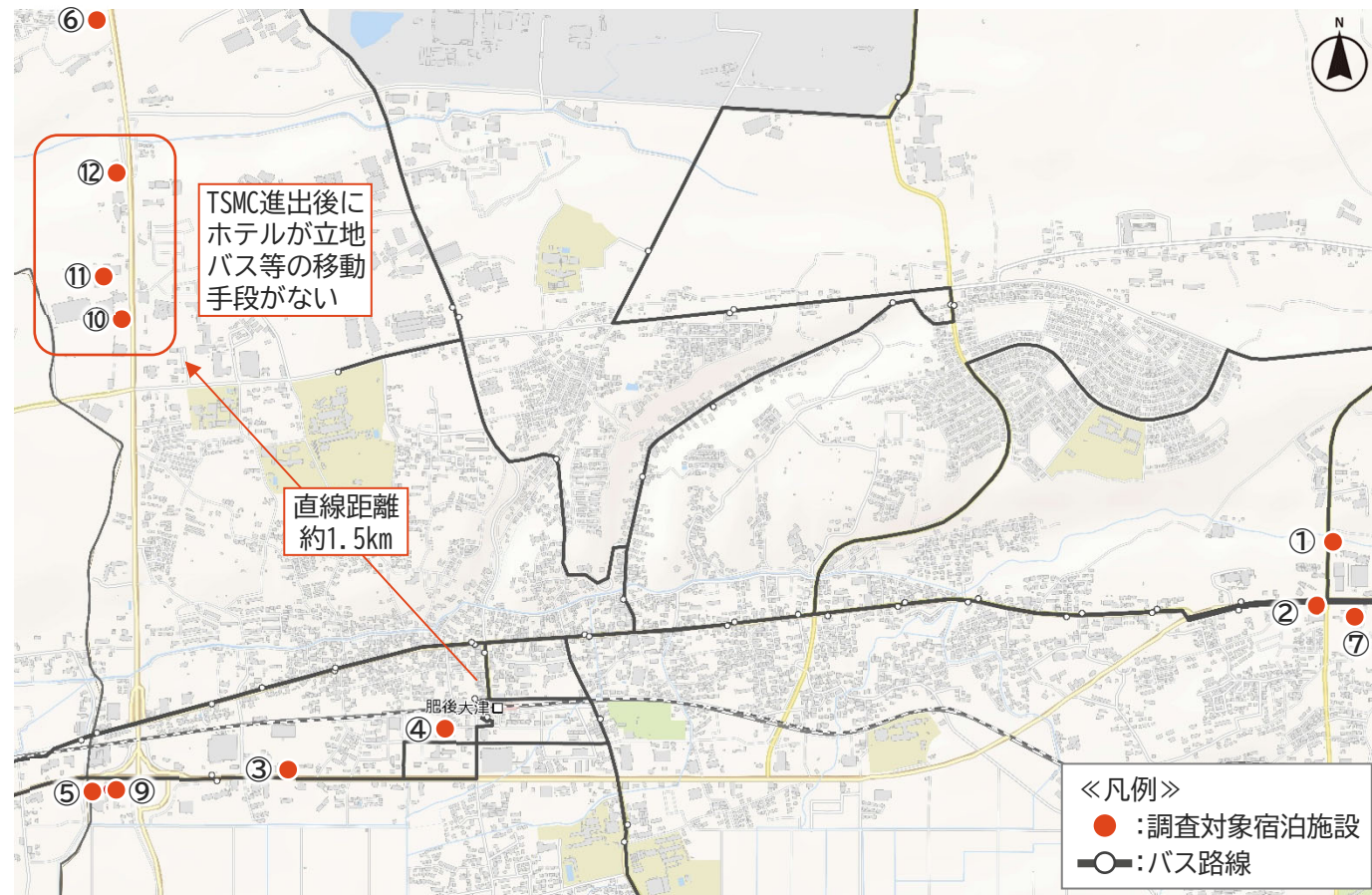


図 調査対象の宿泊施設と既存路線の位置関係

8 町内外通勤者への調査

※関係者様への協力依頼を行い実施を予定

●TSMCの進出等に伴い、通勤における慢性的な交通渋滞が発生しているため、**通勤者の通勤状況や公共交通への転換可能性、通勤バスの更なる拡大等の必要性**を調査する。

表 調査の実施方針

項目	調査内容等
調査内容	○従業員の通勤状況、公共交通転換等への意向、交通手段で重視する点、公共交通利用促進に必要な取組 など
調査方法	○チラシ配布によるWEBアンケート調査
調査対象	①町内通勤者（大津町企業連絡協議会に加盟している企業79社程度）※令和7年10月時点 ②町外通勤者（セミコンテックパーク協議会等に所属する企業）
調査期間	○令和7年11月上旬～11月下旬

9 高校生アンケート調査

※学校関係者様への協力依頼を行い実施を予定

●今後の主要ターゲットとなる高校生の通学実態・需要を把握するために高校生アンケート調査を実施し、現行路線の改善可能性等を検証する。

表 調査の実施方針

項目	調査内容等
調査内容	○町内には高校へ直接アクセスする路線バスが存在しており、今後も人口増加等により高校生の通学需要も増加することが予想されるため、 <b>主要ターゲットとなる高校生の通学需要を把握</b> して今後の施策を反映
調査方法	○ホームルーム等の時間を活用してWEBアンケートのQRコード配布（A4用紙両面程度の設問数）
調査対象	○町内に立地する高校2校（各学校の高校1年生を対象に100サンプル程度を想定）
調査期間	○令和7年11月上旬～11月中旬（各高校と事前調整のうえ実施）